



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月12日

上場取引所 名

上場会社名 中部水産株式会社

コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 輝喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3110

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,165	0.9	27	△4.5	95	△3.4	63	—
25年3月期第2四半期	18,995	△6.4	28	35.0	98	6.8	△133	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	3.48	—
25年3月期第2四半期	△7.16	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,746		12,133			82.3
25年3月期	14,716		12,197			82.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 12,133百万円 25年3月期 12,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	40,000	0.9	120	11.2	260	8.8	140	788.8	7.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	19,969,000 株	25年3月期	19,969,000 株
26年3月期2Q	2,023,881 株	25年3月期	1,544,879 株
26年3月期2Q	18,250,762 株	25年3月期2Q	18,598,807 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた金融緩和策や経済政策によって株高や円安が進み、企業の景況感が高まりつつありますが、円安による原材料、燃油価格の上昇や海外景気の下振れ懸念もあって、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、海洋環境の変化による不安定な漁獲状況が続き、輸入冷凍魚が為替の影響からコスト高となり、食品など生活必需品に対する消費者の低価格・節約志向は根強く、市場内外での価格競争の激化も相俟って、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のもとで、当社は、変化する市場や激化する販売競争に対応した集荷、営業活動を積極的に推し進めるとともに、業績の向上と経営体質の強化のための諸施策に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、飼料工場が需要減退により大幅な減収となりましたが、卸売部門が取扱数量は減少したものの価格高により増収となり、19,165百万円(前年同四半期比0.9%増)となりました。経常利益は、売上総利益率が若干悪化しましたが、諸経費の削減により、95百万円(同3.4%減)となり、四半期純利益は、63百万円(前年同四半期は四半期純損失133百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (卸売部門)

鮮魚は、輸入生鮮キハダ、サンマ、アサリの不漁、浜値高の養殖カンパチ、ホタテ貝柱の入荷減、ウナギの取扱数量の減少などによる売上減がありましたが、天然ブリの豊漁、カツオ、ヤリイカなどの順調な入荷、トロ商材の需要増、ウニ、車エビの単価高などにより、増収となりました。

冷凍魚は、冷黄金カレイ、冷ブラックタイガーエビの大幅な搬入減、南北凍魚全般の供給減と価格上昇による売上減がありましたが、アルゼンチン赤エビが量販店中心に販売数量を伸ばし、トラウトなど刺身用製品の好調な荷動き、チリ産銀サケ、バナメイエビの価格高により増収となりました。

塩干魚は、イクラ、ウナギ蒲焼が高値で荷動きが悪化し、チリメンが不漁と単価安で大幅な売上減となりましたが、鮭鱒が原料販売の増加と単価高で売上増となり、漬魚、ミートボールなどが量販店向けに順調に売上を伸ばし、増収となりました。売上高は18,323百万円(前年同四半期比1.3%増)、営業利益は158百万円(同11.8%増)となりました。

## (飼料工場部門)

魚粉販売は、水産向け魚粉が海面養殖魚の減少で需要減となり、養鰻用飼料は、輸出版売が売上を伸ばしたものの、国内販売がウナギ稚魚の不漁により需要が減少し、大幅な減収となり、売上高は358百万円(前年同四半期比20.0%減)、営業利益は19百万円(同50.5%減)となりました。

## (食品加工場部門)

さきいか製品のあたりめが主販売先の取扱減で売上減となりましたが、串剣先、するめソーメン、佃煮原料などが順調な販売となり、新規取扱のこがね漬などの惣菜商品も寄与し、増収となりました。売上高は204百万円(前年同四半期比14.0%増)、営業損失は9百万円(前年同四半期は営業損失22百万円)となりました。

## (冷蔵工場部門)

外国貨物は前年並みの取扱高となりましたが、主要荷主の在庫抑制の影響から、鶏卵など場外貨物の搬入量の減少に加え、鮮魚、青果など市場内貨物の取扱減もあって、減収となりました。売上高は224百万円(前年同四半期比1.2%減)、営業利益は12百万円(同34.9%減)となりました。

## (不動産賃貸部門)

売上高は54百万円(前年同四半期比4.5%減)、営業利益は28百万円(同6.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、14,746百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円(0.2%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少463百万円などがありましたが、商品及び製品の増加302百万円、投資有価証券の増加195百万円などによるものであります。

負債は、2,612百万円となり、前事業年度末に比べ93百万円(3.7%)増加しました。これは主に、受託販売未払金の減少52百万円などがありましたが、支払手形及び買掛金の増加168百万円などによるものであります。

純資産は、12,133百万円となり、前事業年度末に比べ63百万円(0.5%)減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加80百万円がありましたが、自己株式の取得133百万円などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動の結果、仕入債務の増加等により51百万円増加となりましたが、投資活動の結果、定期預金の預入による支出等により495百万円、財務活動の結果、自己株式の取得による支出等により208百万円それぞれ減少となったため、前事業年度末に比べ652百万円(9.4%)減少し、当第2四半期会計期間末には6,323百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成25年5月13日発表の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,834,777	3,371,346
受取手形及び売掛金	1,987,685	1,925,962
有価証券	3,349,800	3,149,875
商品及び製品	791,415	1,093,872
仕掛品	34,438	43,341
原材料及び貯蔵品	285,387	223,936
その他	65,391	41,571
貸倒引当金	△18,000	△16,963
流動資産合計	10,330,895	9,832,942
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,171,321	1,132,471
その他(純額)	759,458	751,822
有形固定資産合計	1,930,780	1,884,293
無形固定資産		
投資その他の資産	53,792	36,546
投資有価証券	1,716,865	1,912,055
その他	720,546	1,124,163
貸倒引当金	△36,412	△43,840
投資その他の資産合計	2,400,999	2,992,378
固定資産合計	4,385,571	4,913,218
資産合計	14,716,467	14,746,160
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,357,812	1,526,218
受託販売未払金	177,894	125,423
未払法人税等	4,428	36,219
賞与引当金	52,730	51,000
役員賞与引当金	7,700	—
その他	217,712	180,432
流動負債合計	1,818,277	1,919,293
固定負債		
退職給付引当金	562,029	565,378
その他	138,728	127,776
固定負債合計	700,757	693,154
負債合計	2,519,034	2,612,448

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,432,952	10,422,734
自己株式	△716,963	△850,614
株主資本合計	12,211,760	12,067,892
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,328	65,819
評価・換算差額等合計	△14,328	65,819
純資産合計	12,197,432	12,133,712
負債純資産合計	14,716,467	14,746,160

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	18,995,601	19,165,753
売上原価	18,061,265	18,245,082
売上総利益	934,335	920,670
販売費及び一般管理費	905,655	893,294
営業利益	28,680	27,376
営業外収益		
受取利息	7,508	6,600
受取配当金	33,373	24,469
受取手数料	18,531	18,212
受取補償金	—	11,712
その他	10,780	7,364
営業外収益合計	70,194	68,358
営業外費用		
雑損失	439	647
営業外費用合計	439	647
経常利益	98,434	95,087
特別損失		
投資有価証券評価損	318,985	—
特別損失合計	318,985	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△220,550	95,087
法人税、住民税及び事業税	2,045	36,827
法人税等調整額	△89,354	△5,218
法人税等合計	△87,309	31,608
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△133,241	63,479

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△220,550	95,087
減価償却費	81,243	71,883
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,665	6,391
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,190	△7,700
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,000	△1,730
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,540	3,349
投資有価証券評価損益(△は益)	318,985	—
受取利息及び受取配当金	△40,881	△31,069
売上債権の増減額(△は増加)	△54,523	51,428
たな卸資産の増減額(△は増加)	△185,474	△249,910
仕入債務の増減額(△は減少)	99,844	115,935
未払金の増減額(△は減少)	26,215	△36,223
未払費用の増減額(△は減少)	4,865	5,223
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,484	△18,753
その他	△57,824	15,115
小計	△64,900	19,028
利息及び配当金の受取額	41,341	31,029
法人税等の支払額	△4,197	△5,743
法人税等の還付額	7,274	6,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,481	51,301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△29,500	△434,000
定期預金の払戻による収入	42,500	43,500
有形固定資産の取得による支出	△29,055	△3,632
無形固定資産の取得による支出	△4,261	—
投資有価証券の取得による支出	△50,836	△101,336
投資有価証券の償還による収入	200,000	—
その他	△24	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	128,822	△495,469
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△307	△133,925
配当金の支払額	△74,157	△74,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,464	△208,692
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	33,876	△652,860
現金及び現金同等物の期首残高	6,611,254	6,975,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,645,131	6,323,038

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	18,083,190	448,517	179,007	227,403	57,480	18,995,601	—	18,995,601
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18,016	—	3,332	51,925	—	73,274	△73,274	—
計	18,101,207	448,517	182,340	279,329	57,480	19,068,875	△73,274	18,995,601
セグメント利益 又は損失(△)	142,009	40,132	△22,005	18,975	31,021	210,134	△181,453	28,680

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△181,453千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	18,323,264	358,848	204,024	224,745	54,869	19,165,753	—	19,165,753
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,944	—	3,041	51,557	—	65,542	△65,542	—
計	18,334,208	358,848	207,066	276,302	54,869	19,231,296	△65,542	19,165,753
セグメント利益 又は損失(△)	158,710	19,849	△9,255	12,360	28,938	210,602	△183,225	27,376

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△183,225千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。